様式２－１

 様

大腸がん検診結果について

年　　月　　日に実施した大腸がん検診の結果をお知らせいたします。

**精密検査不要(陰性)**　➣　今回の便潜血検査の結果、異常は認められませんので、

さらに詳しい検査を行う必要はありません。

○ただし、便潜血検査ですべての大腸がんを発見することはできません。

今回の検査で異常がなくても、血便、腹痛、便の性状や回数が変化したなどの

自覚症状があった場合は、すぐに直接医療機関(消化器専門)にご相談ください。

○また、症状がなくても１年に１度は必ず検診を受けましょう。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（担　当）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　課　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL

　様式２－２

　　　　　　　　　　　　様

大腸がん検診結果について

年　　月　　日に実施した大腸がん検診の結果をお知らせいたします。

**要精密検査(陽性)**　　➣　今回の便潜血検査の結果、さらに詳しい検査が必要です。

○便潜血検査により異常を認めましたので、できるだけ早く精密検査を医療機関

(消化器専門)で受けてください。自覚症状がない大腸がんもありますので、

**自覚症状がなくても必ず精密検査を受けてください。**

精密検査について

　○精密検査の方法は、主として大腸内視鏡検査(内視鏡が困難な場合等には大腸ＣＴ検査

あるいはＳ状結腸内視鏡と注腸エックス線検査の併用など)がありますが、その方法は、

疑わしい病変の部位や悪性の可能性の有無により選択されます。

　○再度便潜血検査を受けることは、精密検査とは言いません。大腸がんから常に出血して

いるとは限らないため、必ず内視鏡検査等による精密検査を受けてください。

　○要精密検査となった方の中で、がんが発見される確率は約3％、ポリープが発見される

確率は約25％です。

　　※厚生労働省「平成27年度地域保健・健康増進事業報告」参考

　　※一般社団法人日本消化器がん検診学会「平成26年度消化器がん検診全国集計資料集」参考

精密検査の際には以下のものを忘れずにご持参ください。

　①大腸がん検診結果について（本状）

　②返信用封筒（精密検査結果報告書在中）

　③健康保険証

　　年　　月　　日

　実施機関の長　様

○○市町村長

大腸がん精密検査依頼書

　本書持参の上記の方は、大腸がん検診の結果、精密検査を要すると思われますのでよろしくお願いします。

　なお、要精密検査者の追跡調査を行っておりますので、お手数ながら別添報告書に所定の事項をご記入の上、ご送付くださいますようお願いします。